

# 平成27年度 村上市岩船郡家庭科部 活動報告

部長 宮地 聡子

## 1 研究主題 学習指導要領の趣旨に沿った家庭科指導のあり方

## 2 研究の概要

- (1) 4月・・・第1回部会（今年度の活動計画立案）
- (2) 8月・・・第41回小・中・高家庭科合同研究会（部員3名参加）
- (3) 8月・・・第2回部会（指導案検討会）
- (4) 11月・・・研究授業

6年「まかせてね、今日の食事」

授業者 村上市立さんぼく南小学校 教諭 小田 公子

指導者 県立教育センター 指導主事 櫻井 直子様

## 3 研究の実際

- (1) 本時の目標（5／13時）

家族の好みや栄養バランスを考えた献立を立てることができる。

- (2) 評価規準

家族の好みや3つのグループ（6つの食品群）の組み合わせを考慮して、1食分の献立を立てている。

- (3) 授業を振り返って

- ・導入時にのび太君のお父さんの献立2例を比較させる場面で、一見してどちらがよいかすぐ分かってしまうものではなくて、バランス表で確かめた上で分かるものにしたことは、児童がより深く思考するために有効だった。また、これから自分たちが考える献立も、栄養バランス表で各食品群の空欄が一つもないことを目指すのだという意識が明確にもてた。「栄養バランス」「旬」などのキーワードもしっかりおさえることができた。
- ・「家族のために」という願いが献立に表れていた。発表の際にも「おばあちゃんが〇〇が好きだから」「お父さんが◇◇にならないように」という相手意識がはっきり表れたものになっていた。相手意識の持続が主体的学びにつながっていた。
- ・一人一人のテーマや課題が違うので、担任の見取りも大変になってくる。あらかじめ全体に示しておくものと個別に対応するものとを区別した下準備が必要であった。
- ・グループ内の交流では、無機質の欄が埋まらなくて悩んでいる友達に、他の献立ならその栄養素を補うことができると提案する姿が見られた。自力では解決することのできなかつた課題を、交流により解決することができた。
- ・振り返りカードは、学習したことの流れが可視化されていてよかった。ただ、本時の反省で終結している児童がおり、次時へのつながりや見通しがもてるような記述になればもっとよかったのではないかな。



## 4 成果と課題

郡市内では2年ぶりの部会設置となり、部員数は少ないながら、身近で授業を公開し合い学び合える環境は大切だと実感している。今回の研究授業を通して授業改善のヒントをたくさん得ることができたので、今後の授業に生かしていきたい。